



引き続き1800人募集も、 昨年も4000人超える定数内講師

大阪府教員採用試験

講師を正規教員に転換する政策、府独自の少人数学級の実施を

大阪府教育委員会は、来年度採用の教員採用試験を、今年度採用に引き続き1800人程度の採用規模として、6月13日の1次選考から順次選考を実施していきます。

一方で昨年2025年度に大阪府教委は、本来正規教員を採用して配置すべきところに、講師(臨時的任用教員)を配置する「定数内講師」が4000人を超えていたことが明らかになっています。講師を正規教員に転換するとともに、府独自少人数学級を実施すべきです。

茨城県 講師の正規教員転換

子育て休暇制度(+32日)の大幅拡充

茨城県では、教員不足や、教員の働き方改善を進める点から、1600人いる臨時任用教員の、2032年までの正規教員化を打ち出しています。

予算規模として25億円が必要になりますが、「教育上のメリットが非常に大きく、推進していく」と県教育庁担当者が語っています。

茨城県では、2024年から男性職員対象に出産、新生児育児参加、産後家族看護などを32日の有給の特別休暇を拡充・新設、最大40日の育児参加の休暇取得を可能にしたこともあり、志願者が増加しています。

講師の確保も課題に、委員会からの課題、業務の見直しが不可欠

昨年組合ニュースで指摘したように、府の採用定数増加に伴い、その分講師候補者の見通しが厳しくなる事態も懸念されます。

講師確保のためには、講師の先生たちの待遇改善とともに、教職に希望を持ちながらも、あまりの業務の多さ、無限の責任を求められる現場の実態に、講師で働くことをためらう実態を、抜本的に変えていくことが不可欠です。

そのためには、教育委員会が、学校に「自主的に取り組んでもらっている」形で、次々取り組まざるを得なくなっている課題や、学校に一律の参加や取り組みを求める業務を抜本的に改めることが必要です。

「聞かせてください 講師の先生の声を2026」から

- 勤務校や希望学年を完全無視され続けている。大事にされていると思えない
- 市費講師に求める仕事量が多すぎる。
- 委員会や管理職発での業務の変更・検討事案が多く、ただでさえ講師の立場で積み重ねが難しいのが本当にその日その日で働いている感覚で消耗しました。
- 休憩時間、出退勤時間の問題に関しては正直民間で働いた身としてはあり得ないと感じている。残業代が出ない中で仕事をされている先生方がいる限り、教員不足は解消されません

募集定員	令和9年度	令和8年度
小学校	700名	700名
中学校	600名	600名
高等学校	230名	250名
支援学校	230名	220名
養護教諭	30名	30名
栄養教諭	10名	10名
合計	1,800名	1,810名

※ 小学校には小中いきいき連携含む

なにわの
**教員採用
選考学習会**

事前申し込みが必要です

申し込みは **Web受付のみ** とします。

(電話、FAX、メールでは受付けていません)



申し込みフォーム

または大教組 Web サイト⇒



第1回

5月23日(土)
13:30~16:45

大阪府教育会館
(たかつガーデン)
8F「たかつ 西」

面接対策

①面接のポイント
②面接練習

※グループに分かれて練習

参加費 **1000円**

申込みメ切 5月18日(月) 定員100人
※学習会後、交流会をおこないます。
ぜひ、ご参加ください。
(17:15~18:30)自由参加

第2回

6月20日(土)
13:30~16:45

大阪府教育会館
(たかつガーデン)
8F「たかつ 西」

模擬授業対策

①模擬授業で大切なこと
②模擬授業練習

※グループに分かれて練習

参加費 **1000円**

申込みメ切 6月15日(月) 定員100人
※学習会後、交流会をおこないます。
ぜひ、ご参加ください。
(17:15~18:30)自由参加

各回とも、災害等で中止になる場合があります。中止の場合は「大阪教職員組合のWebサイト」に掲載します。

NO WAR！憲法守れ5・8枚方ペンライト宣伝

枚方 T-SITE 前に120人！多くの若い人、個人の参加も 飛び入りスピーチ「平和で自由な暮らしは憲法のおかげ」

ゴールデンウィーク直前の5/8(金)18:00から、枚方 T-SITE 前で、NO WAR！憲法守れ！枚方ペンライト集会が開催され、ネットで見た市民や若い人なども多く参加し、120人が思い思いの声を上げました。

ネットで宣伝知った、見た若い人、個人がたくさん参加、 思い思いの工夫凝らしたプラカード、飛び入りスピーチ

宣伝は、新日本婦人の会枚方支部が呼びかけ、府下60か所での一斉行動の一環。枚方教組もこれに合流参加。

従来は市民団体や組合のメンバーが行っていた行動でしたが、今回は全国の平和と憲法守れの全国のデモや集会を紹介している「デモカレンダー」に掲載してもらい、Xはじめ SNS でも拡散を呼びかけた中で、若い人や個人で参加する市民の姿もたくさん見られました。

若い女性が「文句言ったら殺される国になる」「自民党の改憲案、人の心とかなんか？」と手製でデコったプラカードを持って参加。ネットで見てひとりで参加したという卒業生の女の子に声をかけられてびっくりする場面も。

新入社員という若い男性も「平和で自由に生きていけるのは憲法のおかげ」と飛び入りでスピーチする姿も見られました。

トランプ大統領・高市首相の言動に 全国の個人、若い人たちが..

「スタンディングを行います。おそらく私1人ですが」の呼びかけに 100人が参加いま、保守的な地方の小さな町もふくめ全国各地で、「戦争反対」「平和憲法守れ」と、若い人たちや個人で自発的に声を上げ、行動に移す人々が急速に広がっています。

4/19には「近畿ペンライト勢」のLINEグループのメンバーが、Xで直前の2日前に呼び掛けた梅田ヨドバシカメラ前のスタンディングに700人が集まっています。4/8にはつくば市駅前でも20代の女性が、自分も何かできないかと「スタンディングを行います。おそらく私1人ですが」とXにポスト。何か言われなかと不安な中で実施したら、100人が思い思いのプラカードをもって集まったといえます。

トランプ大統領、高市首相の露骨な「力による平和」、「戦争できる国」づくりに「ほっとおいていいのかわ」「一人でも声を上げないと」の思いがこれほど高まっていることはありません。

「信じられる未来へ」(市民連合・菱山南帆子さん)

3/19にはアメリカのイラン攻撃に抗議して国会前で1万人が集会。3/25にも2万5千人が、4・19には3万6千人が、5/3の東京では5万人の集会をはじめ、全国各地で「戦争反対」「平和憲法守れ」の行動が続いています。



「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」の共同代表について30代の菱山南帆子さんは、2月の総選挙で憲法改悪勢力が多数を占める中でも、市民の力を信じて、ペンライト集会や各地の市民集会に取り組み、市民や個人の参加で大きく運動を広げてきました。

市民連合が総選挙後に掲げた「信じられる未来へ」のスローガン通り、多くの若い人や市民が、個人でも声を上げ、行動に立ち上がろうとしています。

第2回まなび庵5/9(土)

「楽しみながら、生きる力を育てる自立活動」

5月8日(土)に、第2回まなび庵が、ラポールひらかたで開催されました。

4月の多忙で疲れがたまる中で、支援担任だけでなく、学年の先生、中学校の先生も参加して、自立活動の中で、子どもたちの苦手とする分野を、楽しみながら活動することで、生きる力を育てる取り組みにつなげていく視点や、支援学級やクラス活動、授業でも使いやすい自立活動の教材がたくさん紹介されました。

すぐに使える、コグトレの教材、やスキマ時間にできる、集中や落ち着いて学習を迎えるちょっとした、楽しみながらできるプリント課題、実際に子どもたちに使っている、子どもたちが楽しそうに参加できるカードゲームなどもたくさん展示や紹介して、先生たちも興味深そうに、実際の使い方を聞きながら見入っていました。



参加者の感想より

○この1か月、活動をたくさんしてきましたが、もっとゲームのような楽しめる活動をしたいと考えてました。「質問じゃんけんゲーム」「や「どっちが好き？」はすぐにでもやってみたいです。
○初めての支援担任で、手探りで日々過ごしているので、詳しい先生方に手立てを教えてもらって、本当にありがたかったです。

ひらかた九条の会 2026憲法を学ぶつどい

「『戦争する国』づくりか、平和憲法の道か 私たちの進む道は・」
講師 石川康宏さん(神戸女学院大・名誉教授)

5月31日(日) 14:00～ 枚方市総合文化芸術センター別館6階
参加費300円 どなたでも参加できます。

5月20日(水) 全教・一斉定時アクション

長時間多忙の解消、給特法は再改定を

昨年改定された給特法は、残業代不支給＝「働かせ放題」を放置したうえに、すべての教員の手当てを減額して、「主務教諭」「担任手当」を支給して「処遇改善」に見せかけるだけでなく、職員室に分断と、より一層の過重業務・多忙化を押し付けようとしています。

全教・大教組の呼びかけに呼応して、5/20(水)に各職場で「一定提示アクション」で定時退勤やSNSで「業務減らせ」「教員不足解消を」などの呼びかけをお願いします。

組合としても、同じ日の夕方に枚方市駅での宣伝活動を予定しています。